

平成27年度 第2回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会(総合計画策定委員会) 【開催概要】

平成27年8月6日(木)19時より、東松島市役所202会議室において、市民委員15名およびアドバイザー企業7社が出席し、平成27年度第2回東松島市復興まちづくり計画市民委員会(総合計画策定委員会)が開催されました。

【内容】

1. 第1回委員会の振り返り及び今後の予定について
2. 総合計画基本構想(素案)について(報告)
3. 意見交換
～東松島市地方創生総合戦略(素案)について～



■意見交換 東松島市地方創生総合戦略(素案)について

東松島市の人口は、長期的には減少が見込まれます。東松島市総合戦略は、国・県の地方創生戦略のもと、定住促進、雇用創出、結婚・出産・子育て支援、まちづくり等の施策をフル活用して人口の減少速度を緩和する(あるいは増加に転じさせる)ための今後5年間の目標や具体施策、施策毎の重要業績評価指数等をまとめるもので、総合計画の基本計画および実施計画に関わる内容が盛り込まれます。

今回の委員会では、これまでに庁内で検討された「東松島市の人口ビジョン」や「東松島市における今後5年間の戦略」について事務局から報告を行った上で、委員が4テーブルに分かれてワークショップ形式で意見交換を行い、今後必要と思われる施策やその効果等について、アイデアを出し合いました。



■意見交換結果(一部意見を要略)

- ・若い人の定住促進に向け、空き家を改修して提供する等の住宅支援が必要。
- ・住環境、働く場所をパッケージとして斡旋する窓口を設置してはどうか。
- ・駅前に無料駐車場を設けてパーク・アンド・ライドが出来るようにし、ベッドタウンとしての利便性を高める。
- ・起業を志す市民が一堂に会して“仕事塾”を開催し、地元金融機関やHOPEから専門的な助言を受けるなど、起業やコミュニティビジネスの事業化を支援する。
- ・そもそも、なぜ人口減少が問題・課題なのか。市民に分かりやすい説明が必要。



※詳細は、別紙会議記録をご確認ください。